

SEKISUI

積水化学グループ中間報告書

2016

(2015年4月1日～2015年9月30日)



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。積水化学グループの2015年度上半期の連結業績につきまして、ご報告申し上げます。

中期経営計画「SHINKA!-Advance 2016」の2年目となる2015年度上半期の連結業績は、売上高は前年同期比1.3%減の5,389億円、営業利益は前年同期比8.5%減の382億円となり、減収減益となりましたが、利益面では本年7月に公表した修正計画を上回る実績を確保することができました。

これは、前年度後半に住宅市場が落ち込み、新築住宅やリフォームの期初受注残が減少した影響を大きく受けたものの、高機能プラスチックカンパニーの車輻・輸送分野やライフサイエンス分野など戦略分野が好調に推移したことや、住宅カンパニーを中心にコスト管理を徹底したことによるものです。

下半期につきましては、海外を中心に戦略分野をさらに強化するとともに、住宅受注の増大と低収益事業の構造改革を完遂し、通期の売上高は1兆1,200億円、営業利益は過去最高となる900億円を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも厚いご支援を、引き続き、賜りますようお願い申し上げます。

2015年12月



代表取締役会長

根岸 修史

代表取締役社長

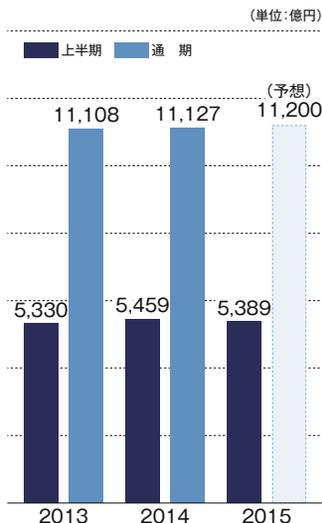
高下 貞二

積水化学グループ上半期決算のご報告

売上高

5,389億円
-1.3%

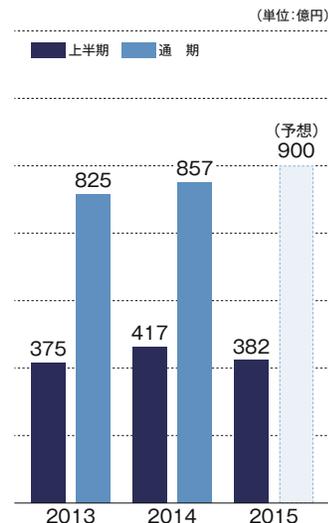
海外の戦略分野を中心に売上が伸びたものの、新築住宅やリフォームの期初受注残が減少した影響などにより、1.3%減少しました。



営業利益

382億円
-8.5%

住宅カンパニーの売上高が減少したことに加え、開発投資を行ったことなどにより8.5%減少しました。

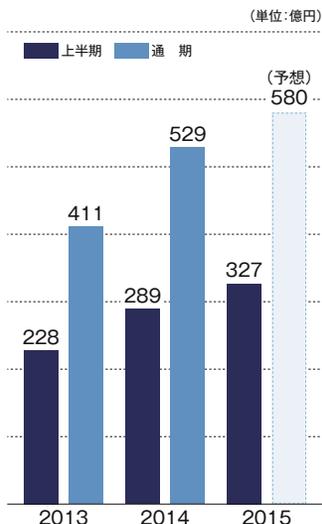


- 2 -

純利益

327億円
+13.4%

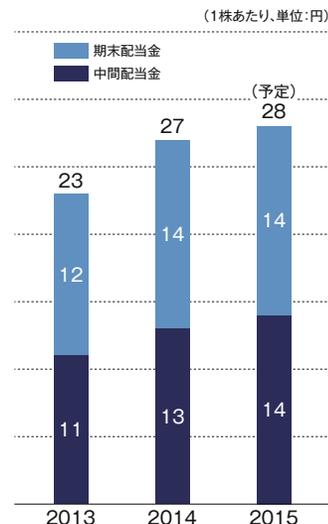
投資有価証券売却益を計上したことなどにより、純利益は大幅に増加しました。



中間配当金

14円

2015年10月29日開催の取締役会において、前年度の中間配当金より1円増額となる1株につき14円とし、支払開始日を12月1日とさせていただきますことをご報告しました。



- 3 -

カンパニー別売上高・営業利益

売上高

(単位:億円)

	2015年度 上半期	2014年度 上半期	前年同期比 増減
住宅カンパニー	2,338	2,492	-154
環境・ライフラインカンパニー	1,074	1,064	+10
高機能プラスチックカンパニー	1,900	1,823	+77
その他	175	179	-3
消去又は全社	-101	-101	0
合計	5,389	5,459	-70

営業利益

(単位:億円)

	2015年度 上半期	2014年度 上半期	前年同期比 増減
住宅カンパニー	162	206	-44
環境・ライフラインカンパニー	-8	1	-9
高機能プラスチックカンパニー	248	222	+26
その他	-16	-9	-6
消去又は全社	-3	-3	0
合計	382	417	-35

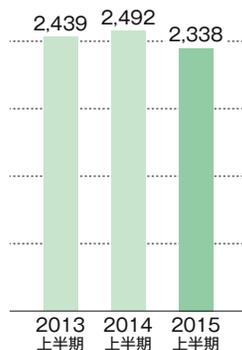
- 4 -

Housing Company

住宅カンパニー

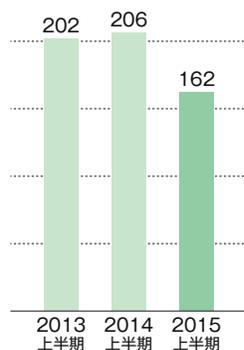
(単位:億円)

売上高の推移



(単位:億円)

営業利益の推移



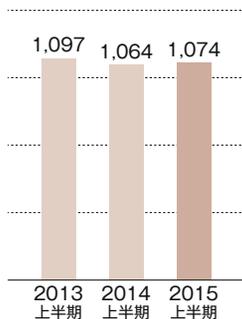
- 前年度後半の住宅市場の落ち込みにより期初受注残が減少し減収減益となりましたが、コスト抑制の効果により営業利益は修正計画を上回りました。
- 新築住宅事業は、創エネ・省エネ・蓄エネに優れた「スマートパワーステーション」シリーズの拡充に取り組むとともに、分譲住宅の強化を図りました。さらに、需要の拡大が見込める賃貸住宅の販売に注力しました。
- 住環境事業は、入居されたお客様の「エネルギー自給自足化」を推進する新商品「GREENSHIFT!」リフォームの提案を強化しました。

- 5 -

環境・ライフラインカンパニー

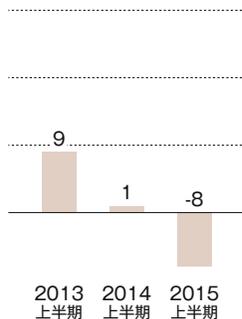
(単位:億円)

売上高の推移



(単位:億円)

営業利益の推移



- 為替の影響により売上高は増加しましたが、海外の水インフラ事業などが苦戦し営業損失となりました。
- 国内事業は、期末集中型販売の改善と流通在庫適正化の推進に取り組み、収益性の改善を図りました。さらに、製品別事業部への組織再編を実施し、収益体質を強化しました。
- 海外事業は、管路更生事業の構造改革に取り組んだものの、水インフラ事業が中国経済の減速の影響を受け苦戦しました。

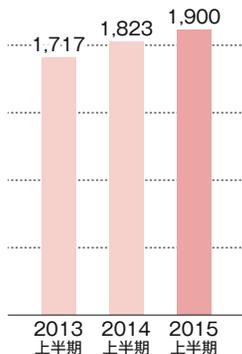
- 6 -

High Performance Plastics Company

高機能プラスチックカンパニー

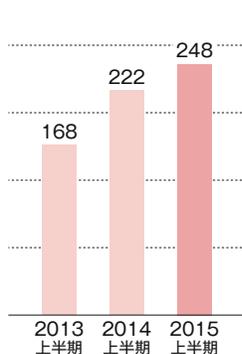
(単位:億円)

売上高の推移



(単位:億円)

営業利益の推移



- 車輻・輸送分野、ライフサイエンス分野を中心に好調に推移し、増収増益となりました。営業利益は最高益を更新しました。
- エレクトロニクス分野は、中国経済減速によるモバイル端末の生産調整の影響を受け、微粒子群やシール剤などの液晶ケミカル製品、両面テープなどの販売が減少しました。
- 車輻・輸送分野は、海外の需要が安定的に推移したことなどにより、高機能品を中心に好調に推移しました。
- 住インフラ材分野は、タイの塩素化塩化ビニル(CPVC)樹脂工場ならびにコンパウンド工場が本格稼働を開始し、CPVC樹脂を中心に好調に推移しました。
- ライフサイエンス分野は、検査薬、検査機器などの海外展開が順調に進捗し、売上が大幅に増加しました。

- 7 -

入居邸の「エネルギー自給自足化」を推進

本年7月、セキスイハイム、セキスイツーユーホームの入居者向けの新商品『GREENSHIFT!』リフォームを発売しました。太陽光発電システムと定置型リチウムイオン蓄電池、HEMS(家庭用エネルギー管理システム)を基本とし、お客様の暮らしぶりに合わせたエネルギー自給自足の暮らしを提案します。



ミズノと国内スポーツ施設に関する業務提携で合意

本年6月、スポーツ施設やレクリエーション施設などの企画・設計・製品開発・施工・運営・維持管理分野でミズノ株式会社と業務提携することで合意しました。現在、両社は陸上競技場のトラックやサッカー場などの表面材の温度を下げる冷却システムの開発を共同で進めており、2015年度内の発売を目標に耐久性、工法の検証を進めています。



- 8 -

タイの塩素化塩化ビニル(CPVC)樹脂・コンパウンド工場が本格稼働

本年6月、タイで建設を進めていたCPVC樹脂工場とCPVCコンパウンド工場が竣工し、本格稼働を開始しました。CPVCコンパウンドを「Durastream」ブランドで販売するほか、新たに開発した環境配慮型コンパウンド製品を、主に耐熱配管材の原料としてインドや中東で拡販します。



ドイツ・コンスタンツで「欧州子どもエコサミット2015」を開催



本年9月、第3回「SEKISUI環境ウィーク」のシンボルイベントとして、ドイツ・コンスタンツにおいて「欧州子どもエコサミット2015」を開催しました。当社の会長・社長をはじめとする経営幹部のほか、従業員とその家族約80名が参加し、ビーバー生息地の環境保全活動の一環としてビーバーの住みかとなるヤナギの植林を行いました。

- 9 -

連結財務データ

連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

	2015年度上半期末	2014年度末
流動資産	461,443	466,164
固定資産	495,362	501,847
資産合計	956,806	968,011

(単位:百万円)

	2015年度上半期末	2014年度末
流動負債	340,343	333,426
固定負債	75,433	99,291
負債合計	415,776	432,718
純資産合計	541,029	535,292
負債純資産合計	956,806	968,011

連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

	2015年度上半期	2014年度上半期
売上高	538,909	545,921
営業利益	38,238	41,779
経常利益	39,493	45,865
純利益	32,792	28,927

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

	2015年度上半期	2014年度上半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,271	36,005
投資活動によるキャッシュ・フロー	-15,202	11,904
財務活動によるキャッシュ・フロー	-28,515	-29,646

-10-

株式の状況 (2015年9月30日現在)

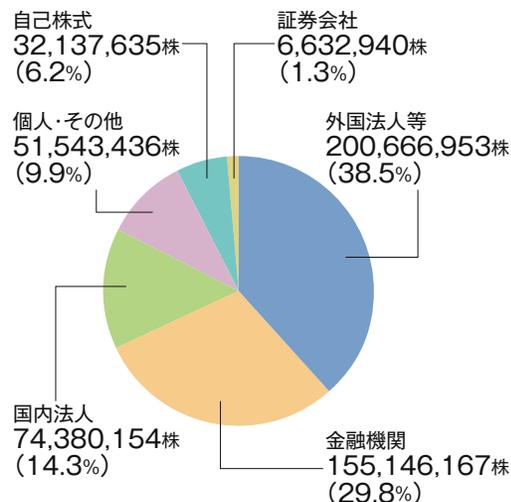
発行株式数および株主数

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
1,187,540,000株	520,507,285株	18,550名

大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
旭化成株式会社	31,039	6.36
第一生命保険株式会社	19,681	4.03
積水ハウス株式会社	16,592	3.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	15,773	3.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,737	2.61
東京海上日動火災保険株式会社	11,946	2.45
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	10,354	2.12
積水化学グループ従業員持株会	8,890	1.82
JP MORGAN CHASE BANK 385164	7,970	1.63
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	7,940	1.63

株式の所有者別分布状況



(注) 1.当社は、自己株式を32,137,000株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2.持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しています。

-11-

株主メモ

株式に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号

電話(通話料無料) **0120-094-777**

- 三菱UFJ信託銀行では、特別口座に記載された株式をお持ちの株主様のお手続きのみを取り扱うこととなりますので、ご注意ください。
- その他の株主様の各種お手続きは、口座を開設されているお取引先の証券会社等にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。

住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金の受取方法のご指定等のお申出について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

会社概要 (2015年9月30日現在)

積水化学工業株式会社 (Sekisui Chemical Co.,Ltd.)

創 立: 1947年(昭和22年)3月3日
資 本 金: 1,000億237万5,657円
本 社: 〒530-8565 大阪市北区西天満2丁目4番4号
グループ従業員数: 24,310名
ホ ー ム ペ ー ジ: <http://www.sekisui.co.jp/>
事 業 年 度: 4月1日から翌年3月31日まで

取締役および監査役 (2015年9月30日現在)

代表取締役会長	根岸 修史	社外取締役	長島 徹※
代表取締役社長	高下 貞二	社外取締役	石塚 邦雄※
取締役	久保 肇	常勤監査役	松永 隆善
取締役	上ノ山智史	常勤監査役	辻 清孝
取締役	関口 俊一	社外監査役	小澤 徹夫※
取締役	加藤 敬太	社外監査役	西 育良※
取締役	平居 義幸	社外監査役	鈴木 和幸※

(注) ※印の5名は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員。

-12-

積水化学グループ2016カレンダーのご案内

株主の皆様を対象に、積水化学グループ2016カレンダーを差しあげます。ご希望の方は、以下の要領にしたがってお申し込みください。

●お申し込み方法

同封いたしましたアンケートはがきに、必要事項をご記入のうえご返信ください。

●締め切り

2015年12月10日(木)到着分をもって締め切りとさせていただきます。
※お届けは12月下旬の予定です。



-13-

積水化学工業株式会社

株主様のお問い合わせはこちら

法務部総務グループ

電話:06-6365-4119

商品に関するお問い合わせはお客様相談室へ

(東京)電話:03-5521-0505

(大阪)電話:06-6365-4133

この報告書は以下のような環境配慮をして印刷・製本しています。

①製版工程では、使用後に廃材となるフィルムを使用しない、ダイレクト刷版「CTP(Computer to Plate)」を用いています。

②印刷工程では、VOC(揮発性有機化合物)の発生が少なく、生分解性や脱墨性に優れたインキを使用しています。